

市内の小・中学校で英語を教えているA.L.T. (外国語指導助手)の皆さんが、久慈で生活して感じてきたことを紹介するコーナーです。

My life in Kuji



ムハンマド・リズキ・アブマーさん
豪メルボルン・28歳 / 久慈湊小、小久慈小、大川目小、夏井小、平山小、久慈中、夏井中を担当

スワンの色は白?

「白」と「鳥」、この二つの漢字を合わせたら、何という単語になるかという問題に挑戦。漢字の意味を知ってた私は、これだと確信して回答。「ハト！」PCには不正解の文字。正解は「白鳥」。…なぜ? 黒い鳥もいるのに。

母国オーストラリアでは、1700年代に世界で最初に黒鳥が発見されました。白と黒、両方のスワンを見ながら暮らしてきた私にとって、白色と黒色のスワンは、ごく自然なことでしたので、このクイズで、日本で「白鳥」という漢字が作られたのは、ずいぶん昔のことなんだと実感しました。

皆さん「ブラックスワン理論」を知っていますか。これまで白鳥は全て白いものと信じられていましたが、黒鳥が発見されたことで、世界の鳥類学者の常識が覆されたことがルーツ。ありえなくて起こりえないことを表現する時に「ブラックスワン」という言葉を使うようになったそうです。私自身この先、どんな「ブラックスワン」を経験するのか楽しみです。

市民

センターだより



山形市民センター
☎72-3711

山形市民センター事業紹介

～第2回遠島山トレッキング～

5月29日、山形市民センターは遠島山山開きにあわせて山根市民センターと合同で遠島山トレッキング会を開催し、約100人が参加しました。出発前には安全祈願が行われ、登山の無事を願いました。また、長年山小屋や登山道の環境整備に貢献いただいた内間木美治氏に、市長が感謝状を贈呈しました。

セレモニー後は、内間木洞ビジターセンターから約2km先の山荘目指して出発。春ゼミの鳴き声に背中を押されながら歩みを進めました。山荘から先は、希望者が山頂を目指し登頂。道も険しくなる中、休憩を取りながら一歩一歩ゆっくり前進しました。山頂にたどり着いた参加者からは、太平洋や岩手山、姫神山などの展望に「今日はとても景色がよくて大当たりの日だ」と歓喜の声があがりました。

下山後は、まめぶのお振舞いや軍配もちの販売などがあり、疲れた体を癒しました。

山形市民センターはこれからも地域の特色を生かしたさまざまなイベントを企画していきます。

新たなステージに挑戦します!

こんにちは。元地域おこし協力隊の田端です。先日は、テレビで私が改装した「山根のカフェが出てたよ」と声を掛けていただきうれしく思いました。※現在はcafe soramameが経営しています。新山根温泉も復活して、さらに山根町が盛り上がりますね。

私は地域おこし協力隊を卒業してからキッチンカーでコーヒー屋をしているのですが、この度アンバーホールの2階で、店舗営業も始めることになりました。こちらでは自家焙煎したコーヒーはもちろん、もっとコーヒーを楽しんでもらうための抽出体験や近隣のコーヒー屋さんとの飲み比べも企画。さらにはスイーツにも力を入れていきます。

コーヒーにもスイーツにも妥協せず、皆さんに美味しいものをお届けできるよう精進していきます。さまざまな面白いイベントを考えていますので、楽しみにお待ちください!

協力隊 OB.OG 通信

田端 涼輔 さん
(たばた・りょうすけ 27歳)

2018年着任。三重県津市出身。令和元年7月、山根町に「ヤマネココカフェ」をオープンしました。



●地域おこし協力隊…移住定住促進を目的に、都市部からの移住者に対して市が委嘱。カフェを中心とした地域の活性化、新規漁業者の確保や水産物の高付加価値化への取り組み、農泊事業の実践と推進、地域資源の商品開発・販路拡大PRなどを行います。

きらり人輝く

地域の力になりたいと熱い思いを持った大川目町まちづくり協議会の新会長

地域のためにできること

平成8年に発足された大川目町まちづくり協議会。6月4日に会長に就任した三上昌明さんに地域への思いや、これからの活動について話を聞きました。

■地域への思い

大川目町は、久慈城があった場所で歴史もあり、地元愛が強いまちだと思います。私自身小さな頃から育ってきた愛着ある土地なので、積極的に事業を行い、地域に参加できる居場所を作っていきたいと思っています。

■手掛けている事業

久慈城跡が岩手県指定史跡に決定したことを受け、11月に「よみがえる久慈城と大川目の歴史」を企画中です。家にある久慈城に関する資料や古文書など持ち寄り展示します。開催日が決定したらお知らせしますので、ぜひご来館ください。

■秋まつりへの思い

久慈秋まつりは、小さな子どもから大人までが参加する一大イベ

ント。笛や太鼓は先輩が後輩に指導することで伝統の音が引き継がれ、山車づくりは同じ目標に向かって進むことで地域の団結力が一気に高まります。新型コロナウイルス感染症で2年開催できなかった影響は大きく取り戻すのは大変ですが、みんなで心をつなげて展示開催に向けて活動を進めていきたいと思っています。

■今後の活動

持続可能なまちづくりを目指し、SDGsに積極的に取り組んでいきます。国道沿いの花植えや草取りなどの美化活動や「小さな産直・大川目」で地産の米や野菜の販売を促すなど、積極的に活動を進めていきます。ホームページ「おおかわめの風」で情報発信していくので、ぜひご覧ください。



Name
三上 昌明 さん
みかみ・まさあき (大川目町・63歳)

Profile

大川目市民センター所長
大川目町まちづくり協議会会長
※大川目町まちづくり協議会のホームページ
「おおかわめの風」
▶ URL…<https://bizennosato.lsv.jp/>



集まれ! 元気の輪

久慈あおぞら三弦会

代 表: 大石純夫 さん
活動場所: 長内市民センター ☎52-7400
活 動 日: 毎週水曜日 19時~21時

三本の弦でさまざまな音階の音色を奏でます



息を合わせ力強い演奏

久慈あおぞら三弦会は、津軽三味線の演奏を楽しく弾けるように平成28年8月に結成されたサークルで、6人で活動しています。津軽三味線は叩いて弾く力強さが特徴。民謡を中心に練習しています。

初舞台を予定していた令和3年の生涯学習のつどいは残念ながら中止になってしまいましたが、気持ちを切り替え、次の晴れ舞台を目指して稽古に励んでいます。

メンバーは随時募集中です。音の振動を体感できる和楽器、三味線の魅力を肌で感じてみませんか。気軽に見学にお越しください。「まずは来て見で〜」待ってます!